

■ 清須市地域公共交通戦略の改訂に向けた考え方（案）

1 運行目的

現行の運行目的を基本的に踏襲。

- ① 市役所各庁舎や各種公共施設を利用するための交通手段の確保
- ② 高齢者や主婦層などの日中における市内移動の利便性を高める
- ③ 市としての一体感を醸成
- ④ 公共交通不便地域の解消

2 運行計画

図書館がオープンする7月7日（土）に、ルート・ダイヤ改正を行い、新たな運行体制の下、図書館へのアクセス向上と更なる利便性の確保に努める。

新たな運行体制については、清須市地域公共交通戦略を改訂した上で策定する生活交通ネットワーク計画に位置付ける。

なお、7月6日（金）までの運行体制は経過措置として、平成24年3月末で計画期間が終了する清須市地域公共交通総合連携計画に基づく現運行体制とする。

運行系統	〔変更〕	3路線。基幹型路線、支線型路線の導入。
運行日数		毎日運行。ただし、年末年始（12月29日～1月3日）は運休
運行時間帯		朝8時台から夕方6時台まで
利用料金		1乗車100円（未就学児は無料）。ただし、乗り継ぎの場合は、乗り継ぎ券を発行（当日のみ有効）する。
運行形態		市が事業主体となり、民間事業者を運行主体とした運行
自主財源の確保		有料広告を掲載（バスのりば標識、時刻表・全体ルート図）

3 基幹型路線、支線型路線の導入

〔課題〕

- ① 経路が冗長で、乗車時間が長い
- ② 運行便数が少ない
- ③ 清須市立図書館への交通利便性の確保（平成24年7月7日開館予定）

〔方向性〕

- ① 西枇杷島、新川、清洲地区の主要拠点と図書館を結ぶ基幹型路線の新設
- ② 市内を大きく2地区程度に区分し、地区内の各拠点を結ぶ支線型路線の新設
- ③ 基幹型路線と支線型路線の接続性を考慮
- ④ 基幹型路線は、輸送力の増強を図るため新車両を導入

○導入車両の候補

- 日野ポンチョ
- 乗車定員33人程度
（座席18人、立席14人、乗務員）
- ユニバーサルデザイン
- 車椅子対応、低床

